

令和5年度 第1回 学校評価アンケートに関する考察

○保護者アンケート（1～21）の中で、肯定的な回答が8割を下回った項目は3項目ありました。

（ ）の数字は令和4年度第2回アンケートの結果です。

1 「学校は、いじめの予防や早期発見、適切な対応に努めている。」62.9%（63%）

本校では、毎月、児童に「大平っ子アンケート」を実施しています。「大平っ子アンケート」で気になる回答をした児童にはただちに面談を行っています。また学期に一度すべての児童と教育相談を行い、いじめの早期発見に努めています。いじめを認知した場合は大平小の「いじめ防止基本方針」に則り、校内委員会を立ち上げ対策を講じています。

また本校は今年度も、心の教室相談員が週に3回、スクールカウンセラーが月に一度来校しています。その際に児童が相談できる機会があります。また、相談箱を設置することで、児童はいつでも相談事を投函することができます。

本校では、これまでいじめの重大事案はありませんが、児童同士のトラブルは報告されています。いじめの未然防止にも十分に努め、いじめ等の事案が起こった場合は引き続き、適切な対応を行っています。

2 「学校は、特別な支援が必要な児童への配慮がなされている。」74.3%（73%）

3 「学校は、個に応じたきめ細やかな指導を行っている。」75.2%（68%）

今年度も、特別支援学級を3学級開設しました。児童への対応で配慮が必要な場合は市から配属されている支援員3名で支援しています。さらに教育相談担当として、心の教室相談員が1名（週3回）、スクールカウンセラーが月に一度、また学期ごとに特別支援教育アドバイザーを要請し、指導方法の工夫等について職員が指導・助言を受けているところです。

学習面においては、理科、外国語、音楽、図画工作で専科指導を行っています。一部の学年の算数においては、学級を二つに分けた少人数指導も実施しています。また毎日、市の少人数指導担当が算数等の指導をティームティーチングで行っています。さらに、今年度はNPO法人GAAの力を借り、3・4年生の算数の指導も行っています。今後も様々な人的支援の力を合わせて、一人一人を大切にしたい教育を推進していきます。